



子育てフェスタ 2023

しこちゅ〜ホール/妻鳥町



かわしん感謝祭

しこちゅ〜ホール/妻鳥町



もどってきた
にぎわいとふれあい



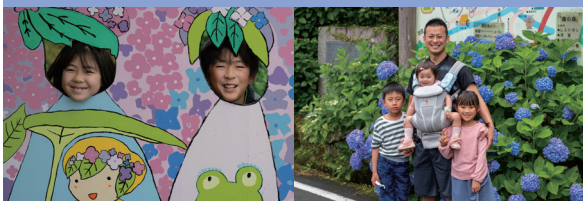
あじさいまつり

あじさいの里/新宮町上山



お茶まつり

霧の森/新宮町馬立



まちにあふれる
笑顔と笑い声



6月11日、あじさいの里で、名物のモノレール運行が始まりました。山の斜面に咲き誇るあじさいを見ようと集まった多くの家族連れで、あじさい茶屋とモノレールがにぎわいました。

6月4日、「霧の森 お茶まつり」が開催されました。会場では、キッチンカーとマルシェの出店、新茶即売会や苔玉教室、ダンスパフォーマンスなど多くのイベントが催され、幅広い世代が初夏のひとときを楽しみました。

5月28日、「子育てフェスタ 2023」がしこちゅ〜ホールで開催されました。今年のテーマは「大好き!」。会場では恒例の赤ちゃんはいはいレースや、消防・警察車両の展示、マルシェなどのイベントのほか、育児や歯の健康相談などの子育て支援も行われ、来場者とスタッフの「温かい笑顔」と「大好き!」が溢れました。

5月20日、川之江信用金庫(日浦博基理事長 主催のイベント)「かわしん感謝祭」がしこちゅ〜ホールで初めて開催されました。市内の人気店が並ぶマルシェや体験型金融教室、ワークショップなど盛りだくさんの内容でイベントは大盛況。市内外から多くの来場がありました。

地域とともに、これからも 土居ラブリバーが知事表彰受賞



土居町を流れる関川の美化活動を長年続けている「四国中央市土居ラブリバー推進協議会」(越智滋会長)が、この度「生活環境づくり活動功労者知事表彰」を受賞しました。この表彰は環境への取り組みに優れた個人や団体に贈られるものです。

受賞について越智会長は「地元の企業や学校など、多くの方々のご協力があるからこそ、地域を挙げた活動が続けられている。参加してくれる子どもたちが、この先もずっとふるさとを愛してくれるように、これからも地域に根ざした活動を続けていきたい」と話しました。

ふるさとの先人の思いを受け継ぐ 豊岡小学校が善行会表彰受賞



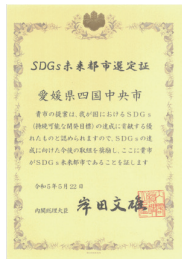
5月29日、豊岡小学校の児童代表11人が、「春季善行表彰」を受賞し、篠原市長を表敬訪問しました。

同校では、江戸時代に豊岡川の治水工事に取り組み水害から村を守った先人の精神を受け継ぎ「ふるさと豊岡のために」という思いで、30年以上豊田浜の清掃を続けています。今回はその世代をつなぐ活動が評価されて受賞に至りました。

篠原市長は「みなさんが長年続けてきた活動は、多くの方が評価してくれている。自分たちが大人になったとき、この活動のことを思い出して、何事にも勇気をもって行動に移してほしい」と激励しました。



SDGsの達成に向けた優れた取り組みを提案する地方自治体「SDGs未来都市」に、今年度、本市が四国で唯一選ばれました。



5月22日に中央合同庁舎(東京都千代田区)で選定証の授与式が行われ、岡田地方創生大臣から尾崎市民部長に、選定証が手渡されました。

SDGsの達成に向けた優れた取り組みを提案する地方自治体「SDGs未来都市」に、今年度、本市が四国で唯一選ばれました。

今後、当プラットフォームを基盤により一層、持続可能な地域の創造に努めます。

持続可能な未来を目指して
本市が「SDGs未来都市」に選定

住みやすいまちづくりに
みすが
美須賀海運(株)から企業版ふるさと納税



5月22日、美須賀海運株式会社(岩井正実代表取締役社長・東京都千代田区)から本市に、企業版ふるさと納税を活用した寄附金1千万円が寄贈されました。

篠原市長は「新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつある現在、懸案の課題に全力を挙げて取り組む時期が来ている。地方創生につながるよう、各分野で活用させていただきたい」と謝辞を述べ、岩井社長に感謝状を贈呈しました。

力を合わせ憧れの舞台に 寒川長津連合 全国軟式野球大会出場



春の県大会で準優勝し、全国大会出場が決定したスポーツ少年団合同チーム寒川長津連合の16人。6月13日に篠原市長を表敬訪問し、受川瑠斗主将が「バッティングを頑張って優勝を目指す」と大舞台への決意を伝えました。

変わらぬ絆で全国へ ゲートボール全国大会出場



ゲートボールの「四国中央チーム」が、昨年11月に行われた県選抜大会で優勝し、2年連続で全国大会への出場を決めました。5月23日に篠原市長を表敬訪問し、「まずは1勝」と間近に迫る大会への意気込みを伝えました。



勇気を与えたい ミセスユニバース 2023日本大会出場

5月31日、ミセスユニバースファイナリストに選出された大西由佳さん（川滝町）が、篠原市長を表敬訪問しました。若者の就職支援など社会貢献を続ける大西さん。「この挑戦で勇気を与えたい」と大会に臨む思いを話しました。



7月23日開催の書道パフォーマンス甲子園本戦に出場する21校が決定しました。その様子が公式YouTubeで生配信され、緊張感の漂う中、大会アンバサダーの青柳美扇さんが出場校を1校ずつ読み上げました。

本市からは、三島高校がブロックトップの成績で予選を通過。配信を見ていた三島高校書道部の部員たちは、歓声を上げ、本戦出場を喜び合いました。会場では、高校生企画員8人が読み上げに合せて高校名が入った掛軸を広げるなど、運営をサポート。猪川ももかさん（土居高校2年・写真右から4番目）は「この舞台を目指す選手のみなさんの努力に励まされるように引き続き頑張ります」と話しました。

【3〜5ページに関連記事】



三島高校が第16回大会本戦出場を掴む 書道パフォーマンス甲子園本戦出場校発表



省エネ住宅の頂点に輝く 興陽商事(株)がハウスオブザイヤー大賞を受賞

市内住宅メーカーの興陽商事株式会社が（佐々木敬史代表取締役社長・川之江町）が省エネなどに優れた住宅を表彰する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2022」大賞を受賞しました。

同賞は、建物本体と設備のトータルで、省エネやCO2削減に貢献する高性能の住宅に贈られ、大賞の受賞は四国で初めてです。

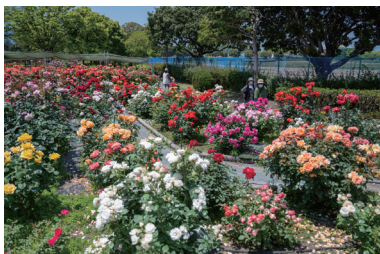
5月31日、篠原市長を表敬訪問し受賞を報告した佐々木社長（写真左から2番目）は「蓄エネなど次世代住宅に向けた研究開発を継続し、皆さまが笑顔で健康に暮らせる住まいを提供したい」と話しました。

篠原市長は「地元企業が業界で認められ、受賞に至ったことを嬉しく思う」と話しました。

本紙上で紹介できなかった記事や写真は、市ホームページ「まちの話題」に掲載しています



ちよつとそここまへ
広報 SAMPO



**伊予三島運動公園
バラ園**（中之庄町）
園内は80種、千株の
バラが咲き誇ります。



市内各所で町民運動会 開催

みんなが待ち望んだ運動会が帰ってきました！
爽やかな笑顔が弾け、地域の輪が広がりました。



開催まで「150日！」
川之江地区老人クラブ連合会がねりんピックをPR

「ねりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」。60歳以上の方を中心とするスポーツ・文化・健康・福祉の総合的な祭典が、10月28日から県内各市町で実施されます。

本市ではラグビーフットボールと、健康マージャンの2種目を開催します。四国中央市交流大会の開催まで150日となる6月1日、

川之江地区老人クラブ連合会が、フジグラン川之江（妻鳥町）でポケットティッシュを配布し、大会をPRしました。

開催までの日数が表示されたカウントダウンボードの前にねりんピックのはちまきをしたしこちゆくが登場。同会の会員が元気な声で配り始めると、店を訪れた人が笑顔で受け取り、心温まる活動となりました。

**市長の
ひとりごと**



四国中央市長 篠原 実

今年にはゴールデンウィークのあと、自然災害が起きる一歩手前くらいの降雨があり、今現在3ダムは貯水率100パーセントに近い水量を保っている。この時期にしては夏場の田んぼの水、工場の水、風呂場の水、歯磨きの水など、あまり気にしないので水を使える状態であり、自然の配慮に頭を下げ感謝である。

3月の戸川公園での疏水感謝祭を、雨天決行された片岡晶会長のご利益であります。関わられた関係者のみなさんにもまさに感謝であります。私も腰やひざの痛みに耐えながら参加させていたいただいたのか、お天道様が見てくれたのか、など思ったりもする。でも節水が基本中の基本である。

ダムの水…東京シティホテル…青春…

大型の事業が具体的に動き始めている。事業そのものが如何に大型であっても、そこにはたくさん課題や問題が内蔵している。度胸と根性を腹に据えて、力と知恵を集めて乗り切らなければならぬ。公務員としての力量を発揮するチャンスだと思つて頑張つて欲しい。

最近、大変お世話になった人が夢に出てくる。多くの人はにやにや笑っている。上京するたびに常宿にしていたホテルが8月いっぱい取り壊されると聞いた。青春のほぼ真ん中を過ごしたホテルである。一度ゆっくり眺めて見ようと思つている。

元氣出して、この夏を乗り切ろうね。頑張るぞ！